

## 金沢大学 WPI ナノ生命科学研究所

### テニュア・トラック教員（准教授または助教）公募 【女性限定】

#### 機関名

金沢大学

#### 機関または部署 URL

<https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/>

#### 部署名

金沢大学ナノ生命科学研究所

#### 機関種別

国立大学

#### 求人内容

テニュア・トラック教員（准教授または助教）【女性限定】

金沢大学 WPI ナノ生命科学研究所は文部科学省世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）による世界的な研究拠点として、2017 年 10 月に設立されました。本拠点では、世界最先端のバイオ SPM（走査型プローブ顕微鏡）技術と超分子化学技術を融合・発展させ、生きた細胞の表層や内部におけるタンパク質、代謝物質、核酸などの動態をナノレベルで直接観察、分析、操作するためのナノプローブ技術を開発します。そして、これらの革新的ナノプローブ技術を基盤として、「がん」研究や計算科学の知見を統合的に活用することで、生きた細胞の基本機能の仕組みをナノレベルで根本的に理解することを目指します。

本 WPI ナノ生命科学研究所において、Jr. PI（PI に準ずる立場の独立研究者）として「ナノプローブ生命科学」または関連学際領域の融合研究を推進するテニュア・トラック教員を募集します。対象分野は、「数理計算科学分野またはナノ計測学」とします。なお、新学術創成研究科ナノ生命科学専攻の教育を担当いただくほか、関連の学部教育を担当いただく場合があります。

#### [勤務地住所等]

金沢大学 WPI ナノ生命科学研究所（石川県金沢市角間町（角間キャンパス））

#### [募集人員]

1 名（女性に限る）

#### [雇用形態]

テニユア・トラック（昇任審査請求権付き有期労働契約）常勤教員（テニユア・トラック期間は採用日から 5 年間）

#### [応募要件]

- (1) 女性であること(男女雇用機会均等法第 8 条に該当。女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した採用を行うもの)
- (2) 「数理計算科学分野またはナノ計測学」における優れた研究業績を有し、その実績に基づき「生命科学」、「超分子化学」の学術分野との融合研究推進に意欲的であること
- (3) バイオ SPM 経験を有することが望ましいが、必ずしも必須でない。バイオ SPM 開発に意欲的であること
- (4) 英語で十分なコミュニケーションをとる能力を有すること
- (5) 独立して研究活動を行うことができ、かつ、チームを率いて研究を推進できること
- (6) 博士(Ph.D を含む)の学位を有すること

#### [待遇]

##### <職名>

准教授または助教（テニユア・トラック（昇任審査請求権付き有期労働契約）常勤）

なお、リサーチプロフェッサー（拠点型）として主として研究に専念する。

※国立大学法人金沢大学リサーチプロフェッサー制度に関する規程

（以下の URL をご覧ください）。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/kiteishu/act/110000411.html>

##### <雇用期間および着任時期>

2027 年 5 月 1 日以降のできるだけ早い日から 5 年間

（雇用開始日については応相談）

テニユア・トラック期間に出産等のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニユア・トラック期間を一定期間延長することができます。

### ＜勤務形態＞

国立大学法人金沢大学職員就業規則の勤務時間、休日・休暇、休業等に関する規定によります。

※専門業務型裁量労働制適用

### ＜給与＞

国立大学法人金沢大学における年俸制を適用する（以下の URL をご覧ください）。

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2026/01/pay10.\\_R8.1.1.pdf](https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2026/01/pay10._R8.1.1.pdf)

上記の年俸に加え、特別拠点手当（業績・評価により変動あり）を月割りで支給予定（未定）。

### ＜再任・昇任制度＞

研究業績等に係る審査の結果に応じて、任期満了後にテニュアを付与します。テニュア付与の可否については、任期満了前の所定の時期に研究等の実績に関する審査を行います。審査の結果に応じて、任期満了後に昇任又は同一職階への移行が可能です。テニュア審査において、テニュア・トラック期間を延長することが認められた場合（最長 3 年間）は延長後の期間の最終年次に再度審査を実施します。

※テニュア付与基準の概略

- （１）当該分野における研究成果が国際的に特に優れていると認められること
- （２）研究計画（融合研究を含む）が達成されていること
- （３）十分な競争的研究資金を獲得していること など

### ＜研究環境＞

給与と併せて以下の措置を予定。

- ・ スタートアップ経費 計 1000 万円（ただし、支給対象は本研究所以外から採用された者とする。）
- ・ 配下に博士研究員または特任助教 1 名（ただし、外国人または女性研究者に限る）を最大 5 年間配置可能。ただし、当初の配置は博士研究員（最長任期 3 年）とする。
- ・ 共用機器：Cryo-FIB-SEM、High-Speed AFM、透過型電子顕微鏡（TEM）、  
NMR（600 MHz/400MHz）、原子分解能/3D-AFM（FM-AFM）、  
走査型イオン伝導顕微鏡（SICM）他、以下ポータルから予約可能な学内共用機器  
<https://skrs.adm.kanazawa-u.ac.jp/portal>

### ＜社会保険等＞

国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入

[募集期間]

2026 年 12 月 1 日（必着）

[応募・選考内容・連絡先]

[応募]

〈応募書類〉

- ①履歴書（写真添付、現住所、連絡先[電話番号、メールアドレス]、学歴、研究歴、職歴、所属学会、賞罰、ORCID ID、researchmap ID 等）
- ②研究業績（査読付論文、学会発表（一般講演・招待（特別）講演に分類する）、総説・解説、著書、特許等に分類し、共著者名、発表機関、巻（号）、最初と最後のページ、発表年、DOI を記載する）
- ③主要論文の別刷（5 編以内、pdf ファイル）
- ④科学研究費補助金、受託研究、共同研究、寄附金等の外部資金の獲得状況
- ⑤これまでの研究活動とその状況（A4 サイズで 2 ページ程度）
- ⑥希望する職階（准教授または助教）と研究に対する抱負（A4 サイズで 2 ページ程度）
- ⑦推薦者（最大 2 名まで）の氏名および連絡先

なお、上記推薦者からの推薦書がある場合は、他の応募書類とともに提出してください。

- ・ 応募書類は、E-mail 又は郵送にて送付してください。
- ・ E-mail の場合、5MB を超えるファイルは受け取れないため、別途アップローダーを利用してください。
- ・ E-mail で応募書類を送る場合は、タイトルに「NanoLSI テニユア・トラック教員応募書類」と入力願います。
- ・ 応募書類を郵送で送る場合は、封筒表面に「NanoLSI テニユア・トラック教員応募書類」と朱書きの上、簡易書留にて郵送してください。
- ・ 応募書類は原則として返却しません。

〈応募書類送付先〉

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学ナノ生命科学研究室

Tel: 076-234-4550

Email: nanolsi-jobs@adm.kanazawa-u.ac.jp

[選考内容(選考方法、採否の決定)]

書類選考及び面接（書類選考後、随時面接の必要な方に連絡いたします。）

面接に伴う交通費等、選考にかかる費用は自己負担となります。

[連絡先(担当者所属、役職、氏名、e-mail、電話)]

業務内容については、以下宛にお問い合わせください。

金沢大学ナノ生命科学研究所

教授（所長） 福間 剛士

Email: fukuma@staff.kanazawa-u.ac.jp

電話: 076-234-4847

備考

(1) 選考の過程で候補者を少数にしぼり面接を行う予定です。

(2) 就業規則については以下の URL をご覧下さい。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

(3) 金沢大学では、「男女共同参画社会基本法」および「金沢大学ダイバーシティ推進宣言」の理念と方針に則り、多様性、公正性、包摂性の実践と促進を推進しています。人事選考における女性研究者や外国人研究者の積極的な応募を歓迎いたします。本学のダイバーシティ環境推進に関する取り組みについては下記 URL をご覧ください。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp>

(4) 金沢大学では教員採用者の配偶者が研究者である場合、専門分野のマッチングによりクロスアポイントメントによる共同研究の実施等を検討いたします。

(5) WPI ナノ生命科学研究所では、文部科学省世界トップレベル研究拠点プログラム拠点として英語によるサポートを行っており、研究者のうち約 35%が海外研究者です。

(6) 当研究所は、性別、国籍、文化的・宗教的背景、ライフステージ等にかかわらず、多様な研究者が活躍できる公平でインクルーシブな環境づくりを推進しています。研究パートナー制度やベビーシッター支援制度による研究と家庭生活の両立支援に加え、女性優先休憩室等の整備など、多様なニーズに配慮した研究環境を整えています。